

創造・参加・実践

# JR 西労組ひろしま

西日本旅客鉄道労働組合  
 広島地方本部  
 発行責任者 石松 大介  
 編集責任者 好永 惇弥

広島市東区上大須賀町 16-1  
 新幹線西高架下 3F  
 NTT (082)-261-6614

No.450  
 2026年3月10日



議長の伊藤委員

委員会は、池田副委員長の開会あいさつで始まり、委員32名中、29名の出席により委員会成立を確認の後、議長に山一支部の伊藤委員を選出し、議事を進行了ました。

委員会の議事は、  
 (1) 主な運動の総括①安全確立に向けた取り組み②一時金の獲得について③2025年度総合労働協約改訂・業務課題への取り組み④組織の充実、強化、拡大の取り組み⑤政治活動の取り組み  
 (2) 当面する活動方針  
 ① 私たちを取り巻く情勢② 具体的な取り組み方針について山根書記長から提案がありました。

## 第35回地本委員会を開催!

2月14日(土) エールエール6階会議室において、第35回地本委員会を開催しました。来賓として、中央本部より川端書記長、川西賃金対策部長が出席されました。委員会では、8名の委員から発言を受け、安全の確立に向けた取り組み、業務、2026春闘の具体的な行動について満場一致で承認されました。

その後の質疑・応答では、8名の委員から発言を受け真摯な議論が交わされ活動方針などの提起事案について、満場一致の拍手で承認されました。そして最後に、石松委員長の団結ガンバローで、委員会は閉会しました。

### 石松委員長 挨拶(要旨)

#### 1. 安全確立の取り組みについて

福知山線列車事故から21年、伯備線触車事故から20年が経ちました。この間、意識改革・ルール変更・設備改良など、労使での取り組みにより安全性は大きく向上しています。

しかし、重大事故につながりかねない事象は依然として発生しており、日々の基本動作の徹底が欠かせません。

JR 西労組では「ABC 運動 (A: 当たり前のことを、B: バカにせず、C: ちゃんとする)」を推進しています。

一人ひとりが危険と隣り合わせの業務に従事していることを忘れず、日々の気付きと継続的な取り組みを積み重ねることで、安全を確立していきます。

#### 2. 2026春闘について

JR 西日本は第3四半期決算で、営業利益 1,971 億円・純利益 1,210 億円を計上しました。これは、コスト構造改革などの施策に組合員の皆様が協力してきた成果でもあります。

今回の春闘で JR 西労組は以下を要求しています。

年度初の基準昇給の完全実施 / ベースアップ 16,000 円 / 年間臨給 5.7 か月

物価上昇が続く中、物価高を上回る賃上げを実現し、組合員と家族の生活を守ることが社会的にも求められています。2026 春闘を「生活と安心を好循環の軌道に乗せる春闘」と位置付け、宮島フェリー支部とも連携し、全力で取り組みます。

#### 3. 組織課題について

広島エリアの支部再編について、昨年 8 月の地本大会で提起し承認をいただきましたが、説明不足を地本として反省しています。

今回の再編は、今後予想される組合員減少に備え、組織のスリム化と持続性の確保を目的とした重要な取り組みです。今後はより丁寧な説明と組織運営に努め、組合員の皆様の理解と協力をお願いしていきます。

#### 4. 政治活動について

先日の衆議院総選挙では、中道改革連合の候補を中心に多くの議員が落選し、JR 連合・議員フォーラム所属議員にも影響がありました。

労働条件の改善には、労使交渉だけでなく政治の力も必要です。JR 西労組が応援するのは政党ではなく、「生活者・労働者の視点で行動する信頼できる政治家」です。地域公共交通の課題などに取り組む組織内議員の皆様 (山下たかお氏、柿本ただのり氏、酒本てつや氏) への支援を、引き続きお願い申し上げます。



中央本部 川端書記長



中央本部 川西賃金対策部長